

平成22年 8月10日

平成22年度東海・北陸地区国立高等専門学校技術職員研修報告書

物理・化学系班 鈴木 猛

1. はじめに

この研修は、東海・北陸地区の国立高等専門学校に勤務する技術職員に対して、その職務に必要な知識を修得させるとともに相互啓発の機会を与えることにより、技術職員の資質向上を図ることを目的とされた。

2. 主 催

東海・北陸地区国立高等専門学校

3. 担 当 校

岐阜工業高等専門学校

4. 研修内容

期 間 平成22年8月4日（水）～6日（金）

研修会場 岐阜工業高等専門学校

第1日

午後 特別講演 「技術室までの歩み」

富山工業高等専門学校 統括技術長 中村 敏郎

特別講演 「技術室と高専連携の在り方」

東海北陸地区産学官連携統括コーディネーター 森永 正彦

校内見学

第2日

午前 発表 「高専 PR 活動」

午後 講義 「地域技術開発・教育センター活動」

岐阜工業高等専門学校センター長 所哲郎

施設見学 岐阜県情報技術研究所

第3日

午前 ポスターセッション

ワークショップ

午後 討議 「現状と問題点」

講義 「理科・化学啓発活動の歩み」

5. 所感

今回の研修は、全体的に技術室の在り方をテーマとして構成されていた。また、例年と違い発表を重視した内容となっていた。口頭発表、ポスターセッション、ワークショップの課題が「高専の PR 活動」に統一されており、そのため、あまり専門的とはならず各高専の公開講座に対する取り組みなどを聞くことができた。公開講座は高専の PR となるのは言うまでもないが、公開講座に関わっていくのは技術室の存在感を高めるためにも有効であると改めて感じた。

今回一人での参加の場合は先に挙げた三つの課題を準備しなければならず負荷が大きかった。研修で発表を行うのは良い考えだと思うので、もう少し配慮が欲しかったところである。